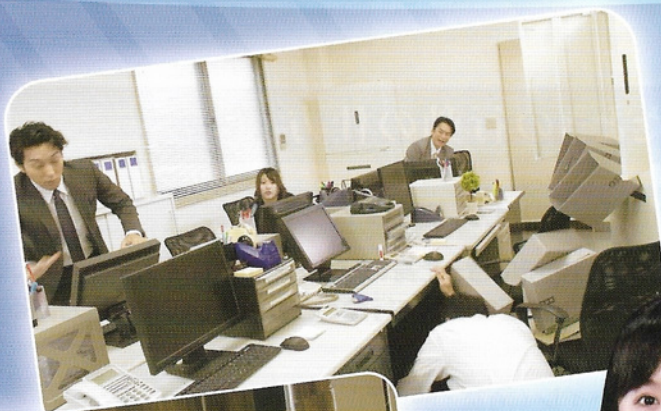


迫り来る 大地震に備える

～そのとき、その場所に合った身の守り方をするために～



監修

公益財団法人
市民防災研究所
理事 池上三喜子



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<https://www.toei.co.jp/edu/>

上映時間26分 [C#3206]

DVD 本体価格 66,000円(税抜)

企画意図

南海トラフ地震や首都直下地震といった大地震が、今後30年以内に高い確率で発生すると予想されています。それ以外にも、日本では甚大な被害をもたらす大地震が、いつどこで発生してもおかしくありません。地震で命を落とさないために、私たちは日頃からどのような備えをするべきなのでしょうか。そして自宅、職場、エレベーターや電車内、スーパーやコンビニ、海岸近くなどの様々な場所で地震に遭遇したとき、その場所にに応じてどのように身を守ればよいのでしょうか。本作品では実写映像を通して、これらを具体的に解説していきます。

必ず起こる大地震

高い確率で発生すると予想されている南海トラフ地震・首都直下地震について、その被害想定などを紹介し、視聴者に防災対策への意識づけを図ります。



命を守る日常の備え

命を守るために欠かせないのが日常の備えです。家具の転倒防止、ガラスの飛散防止、日常備蓄、非常用持ち出し品や非常用トイレの準備、外出時の安全確認など、普段から行うべき備えを紹介します。



地震が起こったときの行動の仕方

地震が起こったときの身の守り方とは？

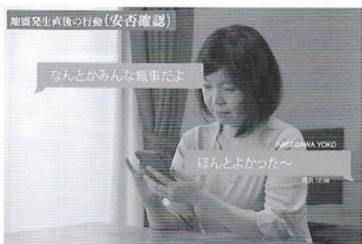
どこで地震に遭遇しても、その場所に合った身の守り方をすることが大切です。地震発生時に以下の場所にいたとき、どのような行動をとればよいのか。迫力ある実写映像で解説します。



自宅（キッチン・リビング・トイレ・浴室・寝室）、オフィス、エレベーター
電車、スーパーやコンビニ、大型商業施設
商店街、住宅街、車の運転中、海岸近く

地震発生後の安否確認の方法は？

地震が収まってから、どのように家族や友達に安否確認を行えばよいのでしょうか。災害用伝言ダイヤル(171)や災害用伝言板サービス、SNSを活用しての家族との連絡や安否確認について紹介します。



地震発生直後の避難行動は？

地震発生直後、安全な場所で留まるか自宅に帰るか、また自宅に留まるか避難所に行くべきか、判断に迷うことがあります。その際の注意点について伝えます。

プロデューサー 光田雅樹／橋稔
脚本 小和野清史
演出 大極啓太

撮影 越智光彦
ナビゲーター 花咲あんな

企画・製作 東映株式会社 教育映像部
制作協力 有限会社TAPROOT

令和2年(2020年)作品 S

○本DVDは、ご購入いただいた官公庁(都道府県市区町村・視聴覚ライブラリー・教育委員会・警察・消防等)や事業所等での貸出し、非営利上映を行うことを前提とした商品です。著作権処理を行うことなく、上映会や研修会等でご使用になれます。

○本DVDについて次の行為に該当する場合は、使用の可否や別途料金等について、必ず当社までご相談ください。
・テレビでの放映 ・ビデオオンデマンド等による配信

○著作権者に無断で、作品の一部または全部を複製・改変・放送・有料上映することは著作権法違反となります。

○DVDビデオは映像と音声を高密度に記録したディスクです。DVDビデオ対応のプレーヤーで再生してください。パソコンなど一部の機種で再生できない場合があります。

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区橋本町5-2 〒730-0015 ☎082-511-2066

●お買い上げは……

北辰映像株式会社
〒350-0461 埼玉県人間郡毛呂山町中央3-32-3
TEL:049-298-5792 FAX:049-298-5793
E-Mail : co@hokushineizo.com